

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎細胞癌の転移巣を切除した患者の予後と予後因子の検討

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄（泌尿器科・准教授）

[研究の目的]

近年、分子標的薬が登場し、進行性腎細胞癌の生存期間は大幅に延長しているが、転移巣切除の有用性は不明である。今回は、腎細胞癌の転移と診断され、転移巣切除術が行われた症例を対象に、全生存期間と生存期間に影響する背景因子を後ろ向きに検討することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 63 年から平成 21 年の間に腎細胞癌の転移と診断され、転移巣切除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

病理学的因子、性別、年齢、診断日（臨床的に腎細胞癌と診断された日）、腎摘の有無、組織学的悪性度、転移発見の診断日、死亡日或いは最終確認日、転帰、転移発見時の所見、血液検査所見、転移発見時から現在までに行われた治療について、原発腫瘍手術日、転移巣切除前に行った全身療法、転移巣切除術の詳細、術後治療、などの記録。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 篠原 信雄

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7853